

令和4年度 第1回東郷町地域包括支援センター運営協議会会議議事録

日 時	令和4年6月24日（金）午後2時から午後3時30分まで
場 所	役場3階 政策審議会室
出席者	委員（敬称略、順不同） 石川 洋子 被保険者代表 柘植 由紀子 介護サービス利用者代表 松山 陽二 介護サービス事業者代表 野々山 郁 医療関係者 神野 幸夫 福祉関係者 制野 司 学識経験者 木下 雅盟 医療関係者
欠席者	原口 浩美 保健関係者
傍聴者	なし
事務局	福祉部長、高齢者支援課4名、 東郷町北部地域包括支援センター1名 東郷町南部地域包括支援センター東郷苑2名
議 題	1 あいさつ 2 報告事項 (1) 令和3年度東郷町北部地域包括支援センター事業報告について (2) 令和3年度東郷町南部地域包括支援センター東郷苑事業報告について (3) 東郷町北部地域包括支援センター令和3年度決算及び令和4年度予算について (4) 東郷町南部地域包括支援センター東郷苑令和3年度決算及び令和4年度予算について 3 議題 (1) 令和3年度北部地域包括支援センター公正・中立性の評価結果について (2) 令和3年度南部地域包括支援センター東郷苑公正・中立性の評価結果について
配布資料	次第 資料1-1～1-10 令和3年度東郷町北部地域包括支援センター事業報告等 資料2-1～2-9 令和3年度東郷町南部地域包括支援センター東郷苑事業報告等 資料3-1、3-2 東郷町北部地域包括支援センター令和3年度決算及び令和4年度予算について 資料4-1、4-2 東郷町南部地域包括支援センター東郷苑令和3年度決算及び令和4年度予算について 資料5-1～5-5 令和3年度公正・中立性の評価結果（北部）

	資料6-1～6-5 令和3年度公正・中立性の評価結果（南部）
--	--------------------------------

1 あいさつ

2 報告事項

- (1) 令和3年度東郷町北部地域包括支援センター事業報告について
- (2) 令和3年度東郷町南部地域包括支援センター東郷苑事業報告について

北部包括	資料説明。資料1-1～1-10
南部包括	資料説明。資料2-1～2-9
会長	<p>北部地域包括支援センター（以下「包括」という。）及び南部包括から説明を頂いた。</p> <p>北部南部両方に確認だが、例えば認知症カフェなどコロナ禍で目標を達成するのが少し難しかったと思う。ちょっとずつコロナ禍をすぎて、with コロナとなっているが、今後少し実施をするか、コロナを警戒してとどめるのか、もちろん事業所としての意見もあるだろうが、センター長としての意見を伺いたい。</p>
北部包括	<p>昨年度は出前講座の申し込みは少なかったが、令和2年よりも実施出来たと思う。今年度は老人クラブに個別に声掛けを行っている。諸輪住宅のサロンは、令和3年6回行う予定が2回しか行っていない。その自治会の考えもある。サロンという形ではなく少人数制の地域情報交換の場にし、家庭訪問に行った際の内容を自治会長や民生委員や老人クラブの会長などの地域サポーターに対しての情報交換の場を設けた。令和4年はスタイルを変えて地元の人と関われる形をとる予定。</p>
南部包括	<p>出前講座は依頼があれば行く。お元気サロンとカフェ東郷庵は月2回、年24回を予定している。しかし、入所施設が併設されているため、元気サロンなどは広いところで行いたいが、中に外部の人を入れることは難しい。デイサービスもあるので、人数制限はしばらく続く予定。</p>
会長	<p>そうですね。南部は外部から持ち込まれる可能性がある。流れが大きく変わっていくタイミングであるため、年度の途中で事業の変更も情報を見極めて検討して頂きたい。</p>
委員	<p>今の話でサロンを実施するかしないかについて。地元で月2回サロンの様なものをしてきたが、コロナになって2年間やっていない。メンバーの中に、もう開催して大丈夫ではないか、ぜひやってほしいというメンバーもあり、7月1日に久しぶりに開催する。本当にやっているのか疑問に思う。公的機関であれば責任を取りようがあるが、有志でやるなら責任はどうとったらいのか分からず躊躇する。何度みんなと話しても、皆ストレスを抱えており、やりたいという気持ちを無視するのも難しい。</p>
委員	<p>個人レベルでやるのは、方法論的にも責任的にも難しいと思うが、民間で行</p>

	うなら自己責任。方法論として、公で行うような距離をとることや体調管理、予防接種の有無などノウハウがある。行政は開催していて、このノウハウを持っている。最低限のノウハウを行政に示してもらってそのノウハウに従えばもうぼちぼち行ってもいいと思うが責任は各自。
会長	個人でやる分には自己責任。特に北部包括支援センターや南部包括支援センターが行うと責任が伴う。with コロナになっているが、十分に注意が必要。
委員	コロナで行事が開催出来ていなかった時、「出来なかった。」で終わっていないと思う。どうやって周知や色々広げていたのか、コロナが収まったときどのような体制か。今までと同じではなく何か工夫など用意されていたら教えてほしい。
北部包括	密になるのを避ける方法として、広い会場を用意する、空気清浄機を借りられないかの検討をした。木下先生がおっしゃっていたような健康チェック、1.5m以上距離を開ける、マニュアルを文書化し職員に周知する形をとった。
南部包括	会場が広いところが良い。コロナ禍で検温や窓を開けて換気を行って気づいた。介護予防で体調管理を行うことや、体操などの参加の様子の観察も当たり前だと気付かされた。
会長	報告書の1-2、2-2以降の数字が出ていて大変ありがたい。数字のみでは現場の声が分かりにくい。コロナとは別の意見が出たと思う。年間を通しての苦労した事例、困難事例、次年度に向けて何かあるか。
北部包括	困難事例として、現場サイドの感覚としては独居の認知症の方が、どうしても困難事例になりやすい。実際にあったケースとしてひとり歩きや、近所にご飯を求めてしまう、道路に出てしまうケースがある。ご近所の方の気づきで包括に連絡がある。気づいた時にはゴミ屋敷になっているケースもあった。ひどい状態になってから包括に連絡があるように感じる。少しでも早く発見するために包括の周知が必要。
会長	何かこういった困りごとに対して、委員の方の助言はあるか。
北部包括	独居の方なので認知症の進み具合、生活の困りごとに気づく人がいない。本人が困っていない。
会長	地域の方が連絡をくれるシステムのようにしているのか。
北部包括	システムがあるというより、気づいた時には目にあまって、やむを得ず連絡されることが多い。
南部包括	独居の人は自らSOSを出せないためか、周りから気づかれる。アパート、県営住宅、団地は中がなかなか見えない。外が汚くなったら中はすごい状態で発見される。汚くならないと周りが気づかない。
北部包括	すごい状態で発見されるので、支援力がとても必要で、時間もかかる。なおかつ身寄りがないとなると、更に支援が困難になる。
会長	行政との連携、マンパワーの問題はどうか。
北部包括	東郷町は小さい町がゆえに、行政と一緒に考えてくれる。家庭訪問も一緒に

	行ってくれる。関係機関にもその都度教えてもらいながらネットワークを作っている。
会長	独居の方が0になるのは難しい。包括の役割は重要になる。引き続お願いする。

(3) 東郷町北部地域包括支援センター令和3年度決算及び令和4年度予算について

(4) 東郷町南部地域包括支援センター東郷苑令和3年度決算及び令和4年度予算について

北部包括	資料説明。資料3-1、3-2
南部包括	資料説明。資料4-1、4-2
会長	北部包括及び南部包括から説明を頂いた。意見や質問はあるか。 まず、北部包括の予算の件費は上がっているが、事務費が比較的多くの科目で減額している。これは見込みで立てているのか、人が増えると具体的に分かっているからなのか。一般的に人が増えるのであれば、各科目は増減するはずだが、下がっている。これは努力なのか。埋もれていたらこまるので確認する。
北部包括	事務費はかなり実績に近い数字で積算してある。今までは正規職員が2人しかいなかったため、会計年度職員にかわりに業務を行ってもらうことがあった。今年度は正規職員が増えたので、その辺が少し整理されきれいになるだろう。事業縮小のためではない。
会長	南部包括は決算は順調であり、コロナで実施がなかった分の予算が残っているのか。今年度大幅に収入、件費、予算が上がっている。あくまでも予算であるが、これは正しい数値か。
南部包括	令和3年の実績をもとに組んでいる。あくまでも当初の見込みであり、今年度また変わってくる可能性もある。
会長	いずれにしても事業として赤字を出してはいけない。専門職ではないから難しいと思うが、センター長としてしっかり取り組んでほしい。
委員	理解はできるが、北部包括と南部包括で表記が違う。予算書で増えている事例に対し、北部は増えていると表記し、南部はマイナスで表記している。統一して頂きたい。
会長	事務局の方でしてくれるのか1フォーマットの統一は可能か。
南部包括	書式を行政が指示してくれれば、合わせることはできる。
委員	書式は構わない。表記方法を統一してほしい。

3 議題

(1) 令和3年度北部地域包括支援センター公正・中立性の評価結果について

(2) 令和3年度南部地域包括支援センター東郷苑公正・中立性の評価結果について

事務局	資料説明。資料5-1～6-5
会長	事務局から説明を頂いた。ご意見ご質問はあるか。

委員	やはり、はなのき東郷にはリハビリがあるため集中しやすいようだが、主治医から聞くと心肺機能が悪く、リハビリがいない患者もいる。集中を避けるという意味でも主治医の意見を聞く、リハビリの必要性を加味して集中を緩和してはどうか。
会長	事務局としては集中をかわしていく方向はなく「適」ということか。
事務局	今のところは適している。極端に50パーセントを超えていない。
会長	そうなると、今のところは包括で調節を行うという事か。もちろん本人の意思の尊重が前提ですが。
委員	指定居宅介護支援事業所の紹介の実績一覧を見ると、南部包括の数が少ない。この実績はどういった実績か。
南部包括	1月～3月に要介護者になった方を紹介した実績。
北部包括	南部に対して北部包括では32件と差が大きい。質問の的と外れてしまうが、差があるのは仕方がない。3ヶ月で32件となると、北部包括としてはケアマネジャーを常に探している。介護認定を受けてもケアマネジャーがいないと介護サービスが受けられない。自分で探す人もいるが、探せない場合はお手伝いをする。1人の要介護の人のケアマネジャーを探すのが大変。ケアマネジャーが担当できる人数が決まっており、お願いしてもすぐに決まるケースの方が少ない。今、1人当たり5、6件電話を掛けており、探すのに時間がかかる。東郷町内のケアマネジャーはすでに一杯である。北部の資料5-5の1～5を見ていただきたい。1番～5番まで見ると東郷町社会福祉協議会以外はみんな他市である。東郷町社会福祉協議会以外は東郷町内では探せない。北部包括が令和3年にケアマネジャーの実態アンケートを行い、41人のケアマネジャーより回答を得た。結果、41人中半数以上が経験年数7年以上のベテランであり、質の担保はできている。しかし、年齢は50歳から60歳が6割であり、事業所に定年があるのは半数以上であった。今頑張っている人は後10年以内に定年するのではと心配している。アンケートを行った令和3年11月の段階でケアマネジャーの募集を行っているかとの質問に対し、6割が以上募集していた。半数は1年以上前から募集をかけている。ケアマネジャーの高齢化が進んでいる。なおかつ募集も来ていない。包括としてはこのままではケアマネジャーがいなくなるのではと心配している。10年後はもっと大変になるのでは。
委員	介護員や保育士と一緒にケアマネジャーがなかなか見つからない。ケアマネジャーの待遇が良くなく、なり手がいない。潜在しているケアマネジャーの把握が難しい。行政の把握があれば紹介できるが。上位に東郷町内の事業所が社会福祉協議会以外入っていない。受け手がないとサービスが受けられずに困る。こちらでもよい検討ができれば。
委員	数字には表れていないが、主治医として、今要介護になるのは難しいと感じる。2050問題があるため、全部要介護にしていたらケアマネジャーもパンクしてしまう。そうなると包括が大変。体感としては要支援が増えている。今

	までは要介護1だった人が、ADLは良くないが認知症がないから要支援認定になる。要支援は包括の仕事になっていく。要支援認定者、要介護認定者の年次推移の数字がわかるようになるといい。前からの比較になる。行政の仕事となるが、そういったデータが見られると良い。
委員	そういう資料を作っていただきたい。

3 その他

事務局	南部包括の人員配置についての報告。今年度、主任ケアマネジャーが常勤換算で1人を満たしていない状況である。南部包括より経過報告の説明を頂く。
南部包括	主任ケアマネジャーの資格を持っているのが非常勤で1人。今年度は常職員の配置を断念する。東郷苑としては、居宅介護支援事業所の管理者が主任介護支援専門員の資格があり、ケアマネジャーとの2人体制で行っているため、来月7月から主任介護支援専門員で0.5人分を包括に持ってきて合わせていく。
会長	1のところを2人で0.5ずつ負担で補うということ。他に意見や質問はないか。 それでは、本日の議題はこれで終了とする。進行を事務局へ戻す。
事務局	令和4年度第2回の運営協議会は令和5年2月頃を予定しているので、出席をお願いします。次回は町及び包括の事業評価の結果報告及び令和4年度の町の包括運営方針案や各包括の事業計画案を示す予定。 本日はありがとうございました。

以上